

# 産業人財育成・外国人雇用対策特別委員会 資料

令和元年6月24日（月）

## 教育委員会

---

### 目次

#### 本県のキャリア教育推進の現状について

- |   |                         |   |
|---|-------------------------|---|
| 1 | 本県のキャリア教育の推進について        | 1 |
| 2 | 小学校のキャリア教育の取組について       | 3 |
| 3 | 職業系県立高等学校のキャリア教育の取組について | 5 |

# 本県のキャリア教育推進の現状について

高校教育課  
義務教育課

## 1 本県のキャリア教育の推進について

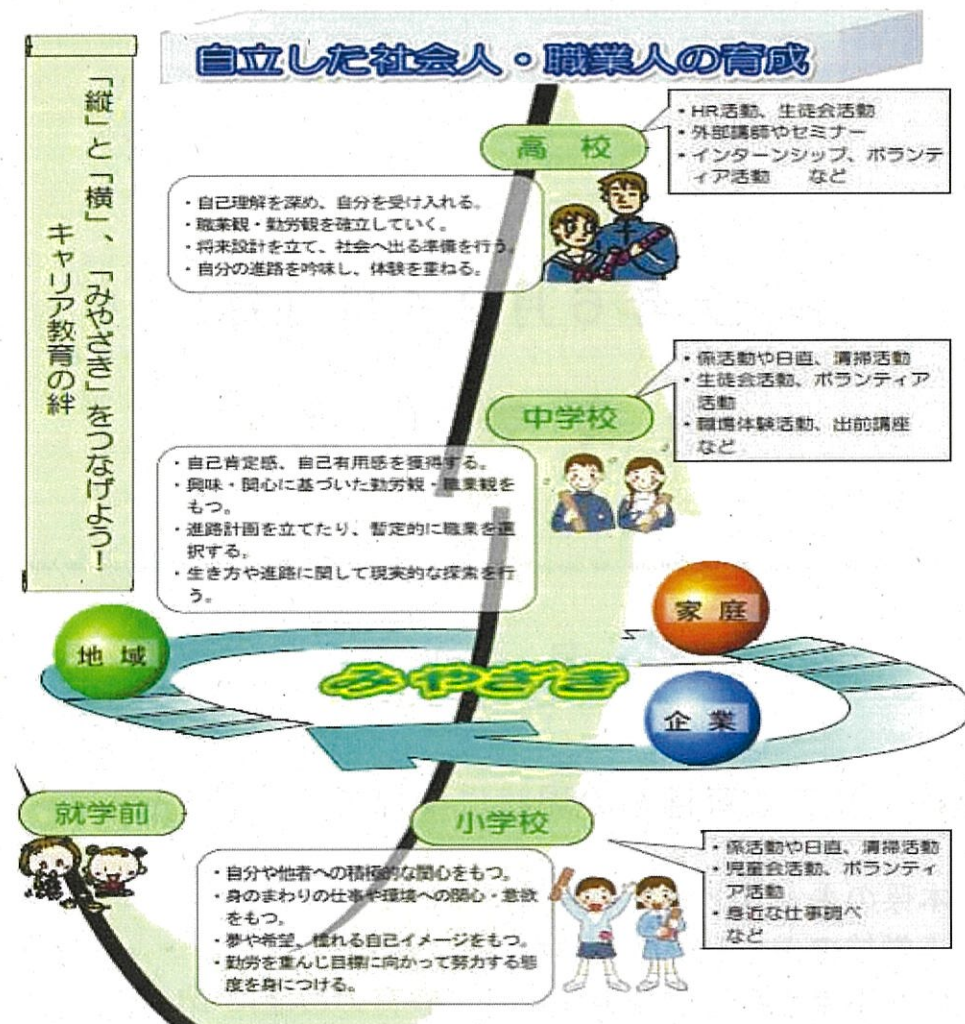
### (1) 目標

一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てる

### (2) 基本方針

- ① 小・中・高等学校等の『縦』の連携を図りながら、発達の段階に応じたキャリア教育を進める。
- ② 学校と家庭・地域社会・企業等との幅広い『横』の連携を図りながら、キャリア教育を進める。
- ③ 宮崎県の産業、地域性に配慮し、宮崎県独自の課題やニーズに対応したキャリア教育を進める。

### (3) 本県のキャリア教育の全体像



※ キャリア教育・・・子どもたちが社会の一員として役割を果たすとともに、それぞれの個性や持ち味を最大限発揮しながら、自立して生きていくために必要な能力や態度を育てる教育

#### (4) キャリア教育の取組

##### ○ 県民総ぐるみ教育推進研修会（H28～）

県内7地区で、学校・地域・企業関係者等が一同に集い、地域人材を活用した研究授業や実践発表、協議会等を実施し、キャリア教育の普及推進を図った研修会を開催している。

##### ○ 宮崎県キャリア教育支援センターの活動

###### ① 研修の支援

- ・ 学校の教職員研修に対する支援  
キャリア教育に対する職員の意識を高めたり、理解を深める講話や演習等を行う。
- ・ 市町村教育委員会の職員研修に対する支援  
コーディネーターや外部人材を派遣して講話や対談等行う。

###### ② 教育活動への支援

- ・ 職業人講話を行う人材の紹介  
学校の授業において、働き方や生き方について子どもたちと語り合う人材を紹介する。
- ・ 目的にあった団体の紹介  
学校の授業の中での対談において、目的に応じた団体を紹介する。
- ・ 職業人講話の実施方法に関する支援  
たくさんのパターンの研修方法や実施方法について、学校に助言を行う。

###### ③ その他の支援

- ・ キャリア教育に関する情報の提供  
小・中・高等学校の連携の仕方や先進校での実践事例等、キャリア教育推進のアイデアとなる情報を提供する。
- ・ 市町村が立ち上げるキャリア教育支援センターへの支援  
センター設置やコーディネーターの配置についての助言・支援を行う。現在、日向市、延岡市、小林市、高鍋町に設置されている。

##### ○ キャリア教育動画教材「夢・チャレンジみやざきの志事人」の作成・配付

県内の子どもたちに、宮崎で働くことや暮らすことの魅力を伝えることで、郷土愛を育み、地元就労の促進に資することを目的として、県教育委員会が制作し、全公立小中高校にDVDを配付している。

##### ○ アシスト企業による教育協働活動

専門性や人材など豊富な教育的資源を有する企業等と連携・協働し、企業等が積極的に学校・家庭・地域の教育活動に参画できる環境を整備し、地域ぐるみの教育支援システムの普及・発展を図ることを目的としている。

この理念に賛同し、出前授業等により子どもたちに働く喜びを教えたり、職場見学や体験活動等を提供したりする企業を「アシスト企業」と呼び、企業バンクに登録している。令和元年5月現在、252社が登録している。




## 2 小学校のキャリア教育の取組について

### (1) キャリア教育支援センターを活用した取組

#### 日向市立財光寺小学校


日向市では、教育支援センターが企業と学校をマッチングし、「よのなか教室」を全小中学校で実施している。一つの取組として、「はまぐり基石の里」の方を講師として招聘し、日向市の伝統である、はまぐり基石について講話を行った。その後、児童達は実際に手ずり体験を行い、伝統技術の素晴らしさを学んだ。



様々な苦労を乗り越えて、今に至っているのです。




手ずり体験の様子




はまぐりを基石にする時の手ずりは、とても難しかったです。伝統技術を守り続ける安藤さんや黒木専務さんは、かっこよかったです。

#### 延岡市立恒富小学校

延岡市では、総合的な学習の時間において、地域で活躍する方を講師として招聘し、インタビュー形式での講話を行った。講師は学校と事前打合せを行い、学校の要望を聞いたうえで、講話を実施した。そのため、児童は、仕事の楽しさや大変なこと、また、ふるさと延岡で働き、暮らすことの魅力について、講師と語り合いながら学ぶことができた。



わたしはふるさとで働くことができ、幸せです。



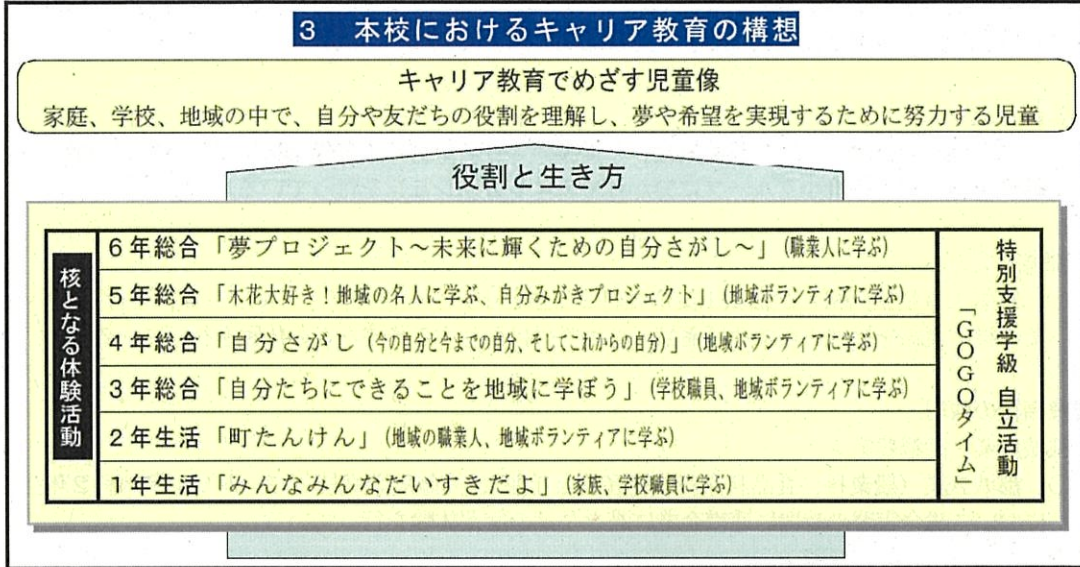
カメラマンはとてもやりがいのある仕事だよ。



(2) 学校独自の取組

宮崎市立学園木花台小学校

学校におけるキャリア教育の目標の達成に向けて、各学年で、キャリア教育の核となる体験を以下のように位置づけている。



第6学年では、「夢プロジェクト～未来に輝くための自分さがし～」として、70時間かけて、様々な職業人への取材活動や体験活動などを通して働くことの意味についての理解を深めさせ、自分の将来や現在の自分の役割、今後の生き方を考えさせることを主なねらいとして実践されている。

核となる「白菜栽培・販売体験」活動では、毎朝様子を見に来られる「名人」と一緒に世話・観察をし、交代で観察記録をとりながらそれらの被害に備えた。実際に、台風や虫害など、次々と被害が出たが、児童は「働く困難」を実感しながらも、プロの知恵をもってその困難を乗り越える体験をすることができた。また、販売戦略を立て、実際に販売し、その戦略の成果を明らかにする活動を行った。



台風被害を調べる様子



お客様収穫体験販売を行っている様子



お客様アンケートを行っている様子

### 3. 職業系県立高等学校のキャリア教育の取組について

#### (1) 工業高校の取組

##### <延岡工業・日向工業>

- 企業経営者や若手社員が各学科(各クラス)に来て話をする「教えて先輩」の取組を行っている。
- 2校合同の「県北企業説明会」の取組を行っている

##### <宮崎工業>

- 「県建設業協会」と「県建築協会」の従業員30名が宮崎工業建築科1年生に仕事の魅力、体験談を語り、その後小グループに分かれてディスカッションを行っている。

##### <都城工業>

- 電気工事業協同組合が都城工業電気科2年生と小グループでディスカッションを行っている。その後、電線を接続するため圧着端子を取り付けたりする作業などの体験を行っている。

#### (2) 農業高校の取組

##### <都城農業・高鍋農業>

- 都城農業(農業科、食品科学科、畜産科2年生)、高鍋農業高校(フードビジネス科2年生)において総合実習の時間に連携企業に赴き長期の実習体験を行っている。

#### (3) 商業高校の取組

##### <宮崎商業>

- 12月に校内で実施している宮商マーケットにおいて、1学年の生徒が中心となり、卒業生が就いている仕事を小学生が体験できる「キッズビジネスタウン」を県内の専門学校の講師とともに運営している。歯科技工士体験や美容師体験、理学療法体験等が体験できる。

##### <都城商業高校>

- 地元企業と連携して商品開発を行い、その商品を様々な販売所に出店している。
  - ※ 都城市の朝市(ぼんちマルシェ)に出店
  - ※ 御菓子子のふくやと「おいもなか」「キャロッチェ」の開発・販売
  - ※ 都城イオンと「トロピカルマンゴージュース」等を開発・販売

#### (4) 家庭科の取組

##### <高城高校>

- 地域企業と連携した商品開発を行っている。

##### <富島高校>

- 地元芸能プロダクションと連携した文化祭ファッションショーの舞台構成等を行っている。

##### <飯野高校>

- 地域産業祭に出品する弁当をJA婦人部と協働で考案し、販売している。

#### (5) 福祉科の取組

##### <福祉科のある4高校>

- みやざき・ひなたの介護フェスタの体験コーナーで(麻痺体験、車いす体験等)を担当した。

##### <門川高校>

- 地元の小・中学校の福祉体験を目的とした交流会や出前授業を行っている。



## ＜参考＞都城農業と延岡商業の取組事例

### (1) 農業科目「食品製造」の時間を利用した取組【都城農業】

- ①学習テーマ 食品科学科におけるキャリア教育と食育（大豆栽培から豆腐作りまで）  
②対象学年 高校2年生食品科学科  
③学習ポイント

ア 農業系高校生による小学生に対しての食育授業の実践を行う。

- ・「食」と「農」の大切さについて理解し、それを小学生に伝えることで、コミュニケーションスキルを高めます。
- ・生徒自らが「先生」として教えることで、製造方法や技術、食品衛生面について幅広く学習し、専門性の深化を図ります。
- ・自ら設定した課題を解決する能力を育みます。
- ・職業観・勤労観の醸成を図り、高校生として今やるべきことに取り組むことで、将来のスペシャリストとしてどうあるべきか考えます。

イ 事前学習においての大豆の播種と栽培・収穫を実施する。

- ・農業科の3年生は、祝吉小5年生に本校圃場で播種の指導を行います。
- ・5年生の教室で、大豆の栄養成分・タンパク質の凝固（実験）等の出前授業を行います。



＜農業科圃場での大豆播種＞



＜祝吉小教室での出前授業＞



＜豆腐作り交流授業＞

### (2) 商業科目「ビジネス基礎」の時間を利用した取組【延岡商業】

- ①学習テーマ ビジネスマナー模擬演習（ビジネスの諸活動を円滑に行うために）  
②対象学年 高校1年生全学科  
③学習ポイント

ア ビジネスマナーを身につける。（接客の場面を想定した演習）

- ・ビジネスの場面に応じた言葉の使い方、話の聞き方、話し方、表情など基礎的なコミュニケーションの方法を学習し、協力して演習に取り組みます。
- ・演習時に自らの目標を設定し、主体的に活動する中で、専門的な能力を身につけることの重要性について理解します。
- ・演習の相互評価や自己評価をすることで、入手した情報を見極め、自ら設定した課題や目標を主体的に探求し、課題の解決を図ります。
- ・自分の卒業後の進路をイメージし、進学する者もいずれは就職しビジネスの場面に遭遇することを踏まえ、商業の学習と職業の関連について考えます。

イ ビジネスとコミュニケーション能力を向上させる。

- ・ビジネスシーンにおけるコミュニケーションの必要性について学びます。
- ・あいさつ・言葉遣い・電話応対について基礎演習を行います。



＜「受付」の様子＞



＜「名刺交換」の様子＞



＜「湯茶接待」の様子＞